

遅れたあ！！！！！！！！！！！！！！！！

スペインの植民地経営

- 商品→サトウキビ、金銀、コーヒー、たばこ、カカオ、染料（スオウ、ログウッド）
- 労働力→先住民（ネイティブ・アメリカン）→エンコミエンダ制度

↓

- ◆ 先住民の人々をグループに分けて、一人のスペイン人に委託するという制度
先住民にもカトリックを教えなければならない。要はヨーロッパ文明を教えるということをスペイン人に任せるということ。でもスペイン人はただそれをするのではなくて、何か見返りがほしいということで、先住民の労働力を使ってもいいということにした。年貢みたいなものをとってもいいということにした。

大西洋貿易

- 16世紀半ば以降：護送船団方式…どこどここの港に集合して、そこには軍艦が待っていて、アメリカ大陸まで集団で引率してゆくというもの。帰りも軍艦が待っていて、引率してスペインまで連れて帰る。これは原則年二回。
- その理由＝貿易管理→許可のない貿易や渡航を阻む（イギリス・アメリカ）

脱税を防ぐ

要は国王の都合のいい人しか貿易が許されなかったということである。全体として、他の国が入ってこれられないような閉じられた空間を作ろうとした。

しかし、そこには問題点があった・・・

- 労働力不足→ここから奴隷貿易をしなければならないという状況になってゆく
- 他国が参入できない→船を襲おうとする人たちが出てくる（海賊という話）
- 貿易のコストが高い→自由化という話でよく聞かすが、自由化すると効率化できるという話があるが、管理した貿易だと競争もなく税金が高く設定されているので、コストが高くなってしまふ。それを気に入らない人たちは密輸を始める。
数週間は労働力不足をどのようにして解消してゆくかということをお話する。

労働力不足

レジュメ参照。

人口減少の話。素人隣人がきて、労働力として使おうとするが、スペイン人と会った瞬間にどんどん死んでいく。それはある種の病気に対する免疫が先住民は持っていなかったためだと考えられている。疥癬と書かれている。これは天然痘の意味。

- 先住民人口の減少
 - カリブ海：16世紀半ばにはほぼ絶滅
 - メキシコ：征服前夜は2000万人以上→征服後100年で100万人強に減少。
 - ペルーもだいたい同じ

- 原因

- 制服による環境の変化→スペイン人の到来によって統治機構や市場環境が変化してしまった。アステカ帝国が負けたことによる精神的ショック。
- 税負担の増加→税金の負担が増加してしまった。
- 疫病：はしか、天然痘

もう一つ大きな原因というのは、役に立たない人が多かったということである。

労働力の性質

- 「良い」（資本主義の形態において是とされている）労働力とは？
 - 働くとは、ある能力がないと働けない。訓練が必要になる。
 - さらにポイントになるのは、命令に従ってくれないといけない。アステカ帝国時代に命令なんてされていなかった先住民は、命令に従おうとはなかなかしなかった。
 - 組織的に働けることが必要なのであるが、そのような文化はアステカ帝国時代には存在しなかったので、なかなかうまくはいかなかった。
 - 長時間・規則的に働けることが必要になる。しかし、そのような規則性も壊れてしまう。
- どんな社会が労働に適しているか
 - 農耕社会 ×狩猟
 - 階層社会 ×平等
 - アステカ、インカ○

先住民は、理論上は一人あたり何百人も使えたはずなのに、このような状況から、労働力が足りないという状況になってしまう。

奴隷貿易

- 先住民に変わる労働力が必要に
 - 1572年に太平洋の貿易航路が生まれる。このあと日本や中国から労働力が運ばれてくるようになる。
- アフリカから連れてくる
 - でも運ぶにおいて問題点があった。自分の植民地から労働力を運ぶことができないということであった。スペインにはアフリカに植民地がないからね。そこでポルトガルに依存することにした。→スペインとポルトガルの貿易網が融合

ポルトガルの奴隷貿易①

- エンリケ航海王子時代ーイスラムから奴隷輸入
 - イスラムには奴隷を使うような社会的システムがあった。ヨーロッパはスラブ系民族をイスラム圏に奴隷として輸出するということをしていた。ポルトガルはアフリカに到達してそのシステムを目の当たりにしたときに、そこに入って利益を生もうと考えるようになる。
 - 家内奴隷が中心であった。生産労働ではなかった。
- じきにサトウキビ産業が発達…ここで大量の労働力が必要になってくる
 - 労働力として奴隷が重要になってくる。
- リスボンが起点ージェノヴァ人、改宗ユダヤ人
 - 彼らはスペインから退去してポルトガルに渡る際にいろいろなものを売り払ってお金を持ってポル値とがるにやってくるので、そのお金を奴隷ビジネスに投資するようになった

た。

ポルトガルの奴隷貿易②

- スペインが委託（アシエント契約）
 - ある期間に一定数の奴隷を供給する権利を与える
 - スペイン政府に権利金と奴隷税を前払い
- 1580－1640 スペインと合併
 - 国王が亡くなって、一番血縁が近いのが、スペイン国王だった。→供給の拡大。
 - オランダ西インド会社の攻勢
- 17世紀半ば：他国の参入

キーワード

- スペインの植民地システム
- 新大陸の労働力問題
- ポルトガルの奴隷貿易